

6月の保健目標は、歯を大切にしようです。

【問題】ケガで歯が抜けちゃった！どうなる？

- ① 二度と元には戻らない
- ② 新しく生えてくる
- ③ くっつくことがある

【答え】

歯はとってもかたくて頑丈ですが、強い衝撃で抜けたり折れたりすることがあります。このようにとれてしまった歯は、元の場所にくっつけることが出来るかもしれません。答えは③です。ただし、「歯根膜」が無事な場合です。

歯根膜というのは、歯の根っこの周りをおおっている膜です。抜けた歯の根元の方に触ったり、抜けた歯を水道水でゴシゴシ洗ったりすると、歯根膜が死んでしまっ、元の場所にくっつけることが出来なくなります。

抜けた歯は、歯の保存液に入れて歯医者さんに持っていくといいのですが、保存液がなければ牛乳に入れても大丈夫です。

また、歯が元通りになるかどうかは、抜けてからの時間も関係します。なるべく早く歯医者さんへ行って、処置をしてもらいましょう。

根っこのほうは、
さわらない！

持っときは、上の
方を持つ

歯の保存液…学校では、保健室の冷蔵庫ドアポケットに保管しています。

裏面もご覧ください

おうちのかたへ 保健だより裏面では、保護者の方向けの内容を掲載しています。ぜひ
ご一読ください。

感染症報告（5月1日～5月30日）

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・流行性角結膜炎（はやり目）
- ・溶連菌感染症

知っておきたい感染症【流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)】

病原体：ムンプスウイルス

潜伏期間：主に16～18日

感染経路：飛沫感染、接触感染。耳下腺が腫れる1，2日前から、腫れた後5日後までが最もウイルス排出量が多く、他への感染の可能性が高い。

症状：耳下腺の腫脹が主で、顎下腺や舌下腺等も腫れる。痛みを伴い、酸っぱいものを飲食すると強くなる。

予防方法：ワクチン接種（1歳で1回、1回目の接種後2～6年経ったら2回目を接種。）が推奨されている。

合併症：無菌性髄膜炎（約100人に1人）。難聴（500～1000人に1人）。急性脳炎（3000～5000人に1人）。思春期以降では、精巣炎の合併が多い。

登校基準：耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が出た後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで出席停止とする。

健康診断の結果について

各検診にて異常の疑いがある場合は、個別にお知らせを配布しています。なるべく早く受診するようにしてください。受診の際は、お知らせの下半分にある「受診結果報告書」に結果を記入してもらい、学校へ提出してください。

なお、歯科検診については、異常がない場合でもお知らせが全員に配布されます。健診後に児童生徒がどのような保健行動をとるのが望ましいのかを示すという観点から、H28年度より、すべての児童生徒に「歯科検診結果のお知らせ」を通知することになりました。

全ての検診が終了した7月頃には、「定期健康診断の記録」を全員に配布します。お子様と一緒に内容を確認し、ご家庭で保管してください。